

平成28年度（第1回）
 水稲病害虫発生状況調査及び生育診断圃調査の結果について

（平成28年6月22日（水）実施）

いもち病	いもち病の初発が確認されました。向こう1か月間の気象予測によると、気温はやや高く、降水量は平年並み又は多いと予想されることから、発生には十分注意してください。
紋枯病	紋枯病の発生は見られませんでした。
ウンカ類	ツマグロヨコバイの発生がわずかに認められたものの、梅雨前線とともに飛来するセジロウンカ、トビイロウンカの成虫は認められませんでした。しかし、向こう1か月の気温はやや高いと予想され、今後生息場所となる本田において増殖が助長されると予想されます。
カメムシ類	カメムシ類の発生がわずかに認められました。今後もカメムシの発生が予想されるので、出穂の2～3週間前（7月上中旬）までには畔草刈を実施してください。
その他	フタオビコガヤ（イネアオムシ）は今回の調査では認められませんでした。イネミズゾウムシの発生が確認されました。7月に入ってから発生消長に注意してください。 ニカメイチュウの食害株は見られませんでした。近年多発生している地域では、越冬している可能性が高く、今後の発生に注意してください。
生育状況	生育はほぼ平年並みに推移しています。茎数が1株あたり15本を超えるようになりましたら、中干しを実施してください。茎数が多い場合はいもち病の発生等に注意してください。 平均草丈 養父市 32.9cm（昨年39.9cm（参考※1）） 朝来市 42.4cm（昨年38.1cm） 平均茎数 養父市 7.6本（昨年14.6本（参考※1）） 朝来市 17.8本（昨年16.7本）
※1 昨年度と調査圃場が変更になっています。また、田植時期が6月上旬です。	

（※ 詳細は普及センター、農協の営農指導員又は南但広域農業共済課職員にお問い合わせください。）

※ 次回の調査は7月22日（金）です。

【問合せ先】

南但広域行政事務組合農業共済課
 TEL 079-665-0215